



## みんなが大活躍の運動会

▶ 鞍手町立古月保育所運動会

10月23日、新園舎になって初めての運動会が行われました。今年は感染症対策をしてお催となり、保護者も観覧することができました。



保護者は2年ぶりに子どもたちを目の前で応援することができ、シャッターチャンスにも力が入っていました。

園児たちも元気いっぱい、笑顔あふれる楽しい運動会になりました。

## 内なる氣や心を整える

▶ 10月23日、チゴンヨーガの体験教室

総合福祉センターでチゴンヨーガの体験教室がありました。チゴンとは「氣功」のことです。講師のヨーガインストラクター Makoto さんは、全米ヨーガライセンスを取得しており、町にお試し居住で滞在中に、「町に何か貢献できれば」と今回の教室が実現しました。

参加者からは、また受講したいとの声が多く寄せられ、Makoto さんも、もっと鞍手町を知りたい、また必ず戻ってきますと話をしてくれました。



## 赤い羽根に思いを託して

▶ 令和3年度福岡県社会福祉功労者表彰

10月26日、社会福祉の増進に貢献された人や地区を表彰する福岡県社会福祉功労者表彰式が行われ、鞍手町支会が福岡県共同募金会会長表彰の優秀地区に選ばれました。皆さんからの募金は地域に還元され、様々な福祉課題の解決を



目指して実施される福祉活動に役立てられます。

また、同日に筒井紀世美主任児童委員が福岡県知事表彰を受賞しました。

## こんなところにも税金が

▶ 町内小・中学生を対象に租税教育

租税教育は、租税の意義や役割を正しく理解し、税の使い道を考えることを目的としています。写真は、古月小学校6年生の授業の様子です。児童たちは、講師からのクイズやDVDなどを通して税金の知識を深めていました。授業の最後には、1億円のレプリカを一人ひとりが持ち上げ、その大きさや重さに驚いていました。

児童（生徒）たちは、身近なところに使われている税金の大切さに気づき、教科書や机などを大切にしないといけないと、感想を述べていました。



## 町への貢献を称えて

▶ 11月2日、鞍手町表彰式

町では、町の自治振興のため、町民の模範となるような善行があった個人等を表彰しています。今年も役場で表彰式が行われ、2人に永年勤続表彰が贈られました。



福本平（写真左）元農業委員会委員は、12年の永きにわたり、農業の発展と振興に貢献されました。

田中二三輝（写真右）町議会議員は、12年以上の永きにわたり、地方自治の発展に貢献されました。

## 調査して捕まえた生物は？

▶ 剣南小5年生が六田川水生生物調査

六田川水生生物調査は、六田川をきれいで水害のない川にする会が、講師に淵上信好氏（遠賀川水辺館）を招いて毎年行っています。

今年の調査でも、数多くの生物を確認することができました。写真は、50cmを超えるコイを捕まえて満足気な表情の八丁大雅くん（写真右）と國山勝聖くん（写真左）。児童たちは、身近な川を通して、自然を大切にすることを学んでいました。



## 警鐘、町に鳴り響く

▶秋季火災予防啓発パレード

11月9日からの全国火災予防週間に合わせ、7日、宮若市・小竹町・鞍手町の消防団と消防本部が合同で防火パレードを行いました。今年、鞍手町で出発式を行った後、消防車両8台が3市町を「カンカン、カンカン」と警鐘を鳴らしながら駆け抜け、火の用心を呼びかけました。空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節です。就寝前や出掛ける前にはしっかりと火の元を確認するなど火の取り扱いには十分に注意しましょう。



## 私たちのふるさと筑豊

▶11月14日、産炭地筑豊の歴史に学ぶ講演会

くらの明日を紡ぐ会が主催し、講師に森山沾一田川市石炭・歴史博物館館長を招いて「産炭地筑豊の歴史に学ぶ」講演会が開催されました。講演では、筑豊炭鉱が一時期は全国・東洋一の採炭量であったことや山本作兵衛氏が体験・見聞してきた炭坑記録画等が世界記憶遺産に登録され10

周年を迎えることなどが紹介され、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。

私たちのふるさとである筑豊を知る良い機会となったようです。



## 給食室で火災発生！！

▶古月保育所で避難訓練

11月17日に古月保育所で避難訓練が行われました。訓練は給食室からの火災を想定して行われ、子どもたちは先生のお話を聞いて、逃げ遅れる園児もなく全員が運動場に避難することができました。その後、消防士から何のために訓練するのかを教してもらい、消防車の放水の様子などを見学していました。

訓練の最後は防火服に着替え、小さな消防士たちは敬礼姿で写真撮影。本物の消防車や、消防士に目を輝かせていました。消防士の説明を受け、園児たちも、火の用心を心がけることでしょう。

## 自分の目でたしかめて命を守ろう

▶室木小4年生がポスターコンクールで表彰

「家で火を使ったときは、消したかどうかを必ず2回確認します」と火の用心について話してくれたのは、室木小学校4年生の岡田憂真くん（写真右）。岡田君のポスターは、宮若市と鞍手郡内の小学4年生を対象にした令和3年秋季全国火災予防運動消防・救急ポスターコンクールで全329点の中から最優秀賞を受賞しました。岡田君は、町の防災無線を聞いて、火事が起こりやすい季節だと知り、火が消えているかを自分で確かめることが大切だと感じたそうです。

原田咲良さん（写真左）は、同コンクールの優秀賞を受賞。家の中の火事の原因になりそうな場所を調べてポスターにしました。「家はみんなで使っているので、自分一人ではなく、家族と協力して火事を起こさないようにしたい」と話してくれました。



## すくすく日記

12月生まれ



### きむらみれん 木村巫蓮ちゃん

令和元年12月3日生まれ

みったん♡2歳のお誕生日おめでとう♪自分でできる事がどんどん増えてきて楽しいね★これからも、遅く育ててね!!いつもありがとう♡(父 祐良さん、母 順子さん・中山)

### お待ちしています

広報「すくすく日記」のコーナーでは、発行月に誕生日を迎える満3歳までのちびっ子を募集しています。1月生まれは、12月10日（金）までに申し込んでください。申し込みや問い合わせは、役場政策推進課政策係 ☎42局2111番 (jouhou@town.kurate.lg.jp) まで。